



八雲町社協だより

ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

結成50周年



小泉会長挨拶の様子



愛情銀行へ寄付金贈呈の様子

八雲ボランティア

令和6年2月16日、八雲ボランティア50周年記念祝賀会並びに新年親睦会がまるみ食堂にて開催され、当社協も招待していただき出席しました。

小泉会長より「ここまでやってこれたのも皆様のおかげ」と挨拶があり、ボランティア活動をしていく上での感謝の気持ち、周囲の理解を得ながら、何より自身が健康であることによって50年という節目を迎えることができたと思われました。

時代の変化とともに求められる活動も変わってくると思いますが、まだまだこれからも活動を続けていきたいと感じました。

参加者と会員に結成50周年記念誌が配られ、また地域福祉のためということで愛情銀行への寄付もいただきました。

八雲ボランティアの皆様、この度はおめでとうございます！

令和6年度

八雲町社会福祉協議会事業計画

基本方針

令和6年度も八雲町社会福祉協議会では、基本理念に基づき、地域住民・行政・町内会・福祉団体・ボランティア等との密接な連携と協力・協同のもと事業・施策の基軸となる「新4期地域福祉実践計画」の実効性のある事業推進により、効果が達成できるよう、町からの受託事業をはじめ、地域福祉及び在宅福祉サービス事業の実施には最大限発揮されるようバランスのある業務の見直しと効率化と職員間の連携を図り、各事業の推進に役職員が一丸となって努めてまいります。

なお、新たに町より「生活支援体制整備事業」を受託しました。この事業を推進させるため生活支援コーディネーター1名を配置し、さらに、業務の機能強化を図るため、本部に新採用事務職員として2名を増員することとなりました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、令和6年度は、通常通り「ふれあいひろば」や「福祉懇談会」など各種事業・研修等が計画通り開催する予定ですが、感染症予防を徹底したうえで、安心・安全に実施するよう努めてまいります。

さて、八雲町社協は、デイサービス【通所介護】・居宅介護支援・訪問介護（熊石地域）の三事業の介護保険事業所を開設しております。

各事業所の運営状況は、コロナの高止まり、特に、冬季は低温による他施設への避難的入所に加え、対象者の死亡及び他施設入所の増加の影響を受け、利用者の減少に歯止めがかからない状況にあり、厳しい運営となっておりますが、常に事業の状況を把握しながら経営の安定化と利用者のサービス向上に努め、信頼され親しまれる事業所として、新たな利用者確保に一層強化と社協らしい事業展開を図りながら、継続的な事業経営に努めてまいります。

町民の皆様には、社協に対しまして、さらなるご理解とご協力をお願いいたします。

重点推進事項

(1) **地域実践計画の推進**
5ヶ年計画（令和5年度～令和9年度）の「新4期地域福祉実践計画」を基軸に、着実な事業の展開に着手するとともに、常に進捗管理を把握し、関係団体等との協議や相互協力を図り、新規事業をはじめとする計画事業の着実な実施に取り組んでまいります。

(2) **地域福祉活動の推進**
地域福祉活動は「みんなで支え合う」を理念とし、社協活動との協働を促進させるため地域住民やあらゆる団体・組織と連携した住民福祉活動を推進し、様々な課題解決のための取り組みを行ってまいります。

令和5年度は「八雲町社会福祉大会」を開催しましたが、令和6年度は「八雲町福祉懇談会」を開催する計画といたしました。福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の意義や役割、推進方法等について関係者と共有すべく、内容の充実に努めてまいります。

また、昨年度に引き続き「第19回ふれあいひろば」を開催する計画であります。そのほか、福祉団体や町内会等の自主的な福祉活動への「生活支援体制整備事業」を構築し、生活支援コーディネーターの活動を活発に行いながら、自主的な福祉活動を積極的に支援協力してまいります。

(3) **ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携**
地域福祉を推進するためには、ボランティアの協力は不可欠であります。そのため、中心的な行事であります「ボランティアスクール」をはじめ「青少年福祉活動体験事業」、「ボランティア愛ランド北海道」への参加を通じ、ボランティア活動の推進と育成を目指してまいります。

(4) **「生活支援体制整備事業」の推進**
各ボランティア団体の活動を助長させるため、それぞれの特徴ある活動紹介や支援体制に引き続き取り組んでまいります。

ボランティアセンター（愛情銀行）事業は、主に町の補助金と町民の寄附金を基にボランティア団体への運営助成やボランティア育成事業を実施しています。このうち寄附金は減少傾向が続いていることから、より善意が広がる工夫によって事業の見直しを図ってまいります。

(5) **「災害ボランティアセンター」の実効性の確立**
町から、令和6年度より、「生活支援体制整備事業」を受託することとなりました。具体的には、「生活支援コーディネーター」を主業務とする社協正職員1名を新規採用し、町の現生活支援コーディネーターの指導を受けながら、関係団体で構成する「生活支援体制整備事業協議体」をはじめ、ボランティア団体とも連携しながら、地域や団体で実施している、いきいき百歳体操、誰でも座れるいすプロジェクト、げんき食堂などの事業を支援する活動をはじめ自主的な福祉活動の推進に寄与していくものであります。

「災害ボランティアセンター」については、マニュアルは構築されたものの、具体的な運営方法等について、速やかに行政等や関係機関と協議を進め、有事に即応できるよう体制を構築し災害時の対応に万全を期してまいります。

併せて、八雲ライオンズクラブとの連携に向けた協議を進めてまいります。

(6) 生活困窮者自立支援活動の実施

経済困窮者や社会的孤立の状況にある生活困窮者に対し、生活困窮者自立支援事業「生活就労サポートセンターおしま」と連携し自立支援相談を行ってまいります。

また、低所得者や経済的な生活課題を抱える世帯に対し、生活一時金(社協単独事業)、生活福祉資金(北海道社協事業)の貸付と相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図ってまいります。

(7) 在宅福祉活動の推進

町からの受託事業を中心に実施している、給食(八雲)、移送(八雲・熊石)、高齢者訪問(熊石)サービスなどの在宅福祉サービスについては、利用者がより良い生活が送られるよう、安全に留意し、サービスの質の向上に努めてまいります。

また、町民の善意により寄贈された車椅子やベッドの有効活用を行っている福祉用具無料貸付事業について引き続き実施してまいります。

併せて、新たにケアラー・ヤングケアラー支援に向けた研修を受講しながら理解を深めるとともに、町及び関係機関と具体的な対策について検討していくこととし、早期に施策を展開できるよう体制づくりに努めます。

(8) 相談・自立支援事業

町民が生活するうえで必要な食料品や燃料などの高騰が続いており、経済的困窮に陥り、例年にも増して、相談件数が増加しております。引き続き、行政や関係者と連携を図りながら相談援助活動に努めてまいります。また、各種事業や活動を通じて住民の悩みを速やかに相談にのり適切な助言・支援等を合わせて行ってまいります。

北海道社協からの受託事業であります、判断能力が十分でない方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業は、利用要望に対応し得る体制を整え、生活支援員の確保等実施体制に万全を期してまいります。

(9) 介護保険事業所の健全運営

介護保険事業(通所、居宅、訪問)は、利用者満足度アンケートにおいて高い評価を受けており、今後においても利用者の声を受け止め、親しまれる介護サービスの提供に努めてまいります。

(10) 財源の確保と財政の確立

しかし、利用者の減少傾向から収支の均衡を図ることが困難な状況となっております。この間、運営方法等の見直しを図り改善に努めてきましたが、一定の成果はあったものの、初期の目標には至ってはおりません。

今後より一層慎重な事業運営の在り方や改善が求められることから、各事業所の収支の均衡を基本に、介護保険事業総体としての運営方法等について、関係機関との協議を視野に入れながら検討してまいります。

八雲町社協は、町からの運営補助金、生活支援体制整備事業及び在宅福祉サービス等の委託金、介護保険事業にともなう介護報酬、町民等からの愛情銀行への寄附金、更には住民の理解と協力を得た自主財源であります個人会費・賛助会費・特別会費及び共同募金助成金など多様な公的財源により運営されております。

会費などの自主財源は、人口減少や長引く経済不況及び景気後退等に加え、物価高騰など、大変厳しい状況にあります。社協の活動に対して、ご理解をいただくよう丁寧な説明に心がけ、納入の促進に努めてまいります。

① 会費納入について
自主財源の中で大きな割合を占める会費については、引き続き社協の活動に対する理解をいただきながら、住民や町内会等の理解を得ながら個人会費の納入と賛助会費・特別会費の加入促進に努めてまいります。

② 共同募金への協力
住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推進の取り組みの財源を支える赤い羽根共同募金は、社協が行っている各種団体助成金の原資であり重要な財源であります。

そのため、八雲町共同募金委員会が実施する募金活動に対し積極的に参加し支援協力してまいります。

② 基金・積立金について
社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金、財政調整基金、人件費積立金、備品等購入積立金及び退職手当引当金があり、その管理には八雲町社協資金管理運営方針等に基づき万全を期してまいります。

また、資金状況に応じ積立と基金設置目的に沿い有効活用を図ってまいります。

(11) 社協組織運営の充実

① 啓発・広報活動
「社協だより」、「支所だより」を年4回発行し、各種事業や活動の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。

また、ホームページを活用した広報活動も行ってまいります。

② 組織運営の充実
評議員会、理事会の開催を通して、法人運営や事業推進の方向性を決定するとともに、監査の実施により法人運営の適正化を図ってまいります。必要に応じ各委員会及び正副会長会議を開催し個別対応を図ります。

研修会・研究会等への参加や関係団体との交流等を通じて情報収集に努め、地域福祉を推進する団体との役割・機能を発揮し、地域に理解と信頼を得られる社協づくりに努めてまいります。職員研修会を自主的に開催するなど、職員の資質向上と専門性の確保に努めてまいります。

③ 地域間交流の促進
渡島噴火湾社会福祉協議会(鹿部町・森町・八雲町・長万部町)連絡会議に積極的に参加し、近隣社協との連携・交流を一層推進してまいります。

また、八雲・熊石両地域の交流についても、引き続き各種行事・事業等の相互参加等を図りながら、交流促進を推進してまいります。

(12) 町からの受託事業の実施

町からの受託事業は次のとおりとなっております。遺漏のないよう努めてまいります。

① 八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
② 寝たきり高齢者等移送サービス事業(八雲・熊石地域)

③ 高齢者等給食サービス支援事業(八雲地域)
④ 生活支援体制整備事業(八雲地域)※新規受託
⑤ 緊急通報体制整備事業(八雲・熊石地域)

⑥ 生きがい対応型デイサービス運営事業(八雲地域)
⑦ 要介護認定訪問調査事業(八雲地域)

⑧ 介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント作成業務(八雲地域)

⑨ 独り暮らし高齢者訪問事業(熊石地域)

令和6年度八雲町社会福祉協議会収支予算

〔本所拠点区分〕

(単位：千円)

○法人本部運営事業	71,190	○通所介護事業	30,832
○生活支援体制整備事業	4,968	○居宅介護支援事業	19,453
○共同募金助成金事業（本所）	1,375	○ボランティアセンター（愛情銀行）事業	981
○在宅福祉事業（本所移送・給食）	6,811	○生活一時金貸付事業	1,000
○緊急通報システム事業	2,443	○生活福祉資金貸付事業	152
○ふれあい広場事業	1,384		

(収入)

(支出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費 収 入	3,458	人 件 費	110,297
町 補 助 金 収 入	39,785	事 業 費	11,792
町 受 託 金 収 入	30,061	事 務 費	8,796
道 社 協 受 託 金 収 入	272	助 成 金 支 出	355
共 同 募 金 助 成 金 収 入	1,375	共 同 募 金 助 成 金	1,375
介 護 保 険 収 入	36,028	貸 付 事 業 支 出	1,000
寄 附 金 収 入	50	施 設 整 備 支 出	440
受 取 利 息 配 当 金 収 入	4	積 立 資 産 支 出	1,529
雑 収 入	1,600	サ-ビス区分間繰入金支出	4,795
償 還 金 収 入	1,000	予 備 費	210
積 立 預 金 取 崩 収 入	10,649		
拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入	85		
サ-ビス区分間繰入金収入	5,200		
前 期 末 支 払 資 金 残 高	11,022		
本所拠点区分収入予算合計	140,589	本所拠点区分支出予算合計	140,589

〔支所拠点区分〕

(単位：千円)

○共同募金助成金事業（支所）	370	○訪問介護事業	14,866
○在宅福祉事業（支所移送）	2,456	○小口資金貸付事業	501

(収入)

(支出)

(単位：千円)

科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
町 補 助 金 収 入	5,692	人 件 費	12,963
町 受 託 金 収 入	3,145	事 業 費	1,970
共 同 募 金 助 成 金 収 入	370	事 務 費	563
介 護 保 険 収 入	5,748	貸 付 事 業 支 出	500
自 立 支 援 費 等 収 入	2	施 設 整 備 支 出	1,577
受 取 利 息 配 当 金 収 入	2	共 同 募 金 助 成 金	370
雑 収 入	1	予 備 費	250
償 還 金 収 入	500		
施 設 整 備 費 等 補 助 金 収 入	1,608		
前 期 末 支 払 資 金 残 高	1,125		
支所拠点区分収支予算合計	18,193	支所拠点区分支出予算合計	18,193

収入予算総合計

158,782

支出予算総合計

158,782

社協会費及び賛助会費のお願い

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の助成金、そしてボランティアセンター（愛情銀行）によせられた寄附金（浄財）、介護報酬等により賅われています。

会費の主な使い道は、毎年開催するふれあい広場事業（米寿・敬老の御祝）、隔年開催する社会福祉大会（福祉功労者表彰式、講演会）や福祉懇談会の開催事業、会報（社協だより）発行事業、福祉機器等の貸出事業等に使われております。

町民皆様からご協力いただいた会員会費は、福祉のまちづくりのため、さまざまな事業を通じて町民の皆様に還元させていただいております。

お願いする会費は次のとおりです。

【 一般会費 500円 】

本年度もご理解賜りご協力下さるようお願いするとともに、全戸加入下さるようご協力をお願いします。

【 賛助会費 一口 3,000円 】

後日、社協役職員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いいたします。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします

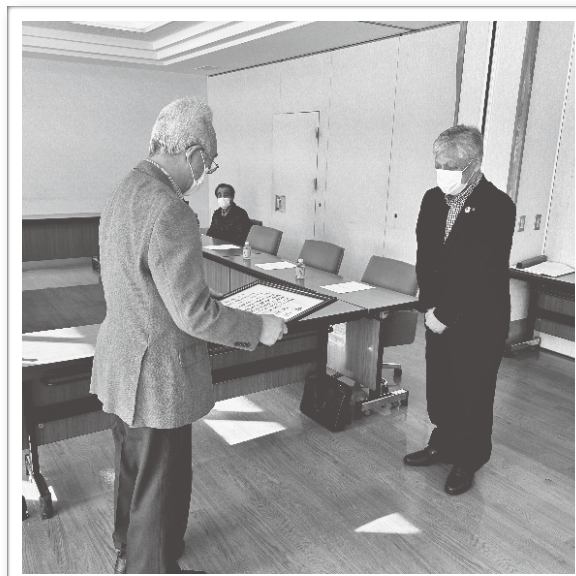
令和5年度 中央共同募金会会長表彰伝達

中央共同募金会より共同募金運動奉仕功労者として功績が評価され次の方が表彰されました。

・能代常男様

令和六年二月九日開催の八雲町共同募金委員会第二回理事会の席上で大野副会長より伝達されました。

受賞おめでとうございます。



令和5年度 ボランティア スクール開催！！

No.32

ボラ通

去る令和6年3月2日(土)、シルバープラザにて開催されました。

令和5年度は“ボランティア活動者の健康づくり

と免疫ケア”を目標に開催し、『体が資本！口腔・体・脳いきいき体操！』というテーマで、第一興商函館支店支店長小野康典氏、営業開発課田名部英美氏をお招きし、カラオケ機器を使用しながら歌に合わせて体操・ためになるお話を交えて11項目、1時間半の講演をしていただきました。



当日は51名の方に参加していただき「普段いかに体を動かしていないかがよくわかった」「うちでもやってみる」と参加者の方から声が聞かれました。

体が資本のボランティア活動、皆さんにはいつまでも健康、元気に活動していただきたいです。

たくさんご参加いただきありがとうございました！

新人紹介



総務係に配属となりました、
小中のぞみです。

地域福祉に貢献できるよう勤
めてまいります。
宜しくお願いします。



地域福祉係・生活支援コーディネーターの大清水貴俊です。

一日でも早く皆様に顔を覚えて
もらえるよう、精一杯頑張ります！



在宅福祉係の樋田華奈ひだはるなです。
経験のないゼロからのスタートとなりますが、頑張ります。
よろしくお願いいたします。

八雲デイサービスセンター

デイサービスセンターでは、毎月様々な行事を開催しております、興味のある方や利用してみたい方、見学や体験利用がありますので、当センターまでお気軽にお問い合わせ下さい。



☎63-4110

八雲デイサービスセンターまで
皆様のお越しをお待ちしております

八雲町ボランティア連絡協議会 ヤクルト自動販売機取扱事業

当ボランティア連絡協議会では、平成25年度より八雲町、ヤクルトさんのご協力のもと、自動販売機の取り扱い事業を行っております。

シルバープラザ談話コーナーに設置しており、売り上げ金はボランティア活動に活用いたします。是非ご協力のほどよろしくお願いいたします。



— 皆さんの温かい善意のご寄付ありがとうございました —

ボランティアセンター(愛情銀行)

令和5年12月16日～令和6年4月15日(順不同・敬称略)

一般寄附

- 内浦2区 はまなすクラブ 1,692円
- 八雲ボランティア 100,000円
(結成50周年記念事業として)
- 北海道遊技事業協同組合 10,000円

物資寄附

- 八雲ボランティア タオル50枚
(平成10年度より継続)

社協活動メモ

十二月

- ・八雲町介護保険事業所合同説明会
- ・第四回正副会長会議
- ・生活支援体制整備事業に係る協議体
- ・第五回正副会長会議
- ・仕事納め式(十二月二十九日)

一月

- ・仕事始め式(一月五日)
- ・第三四半期定期監事監査
- ・八雲町身体障害者福祉協会新年会
遊楽亭
- ・八雲地域ケア会議
- ・第五回理事会

二月

- ・八雲地域ケア会議
- ・八雲ボランティア結成50周年記念祝賀会並びに
新年親睦会 まるみ食堂
- ・第六回正副会長会議
- ・第一回渡島地区「地域に理解され、支持される社協づくり研修」

三月

- ・令和五年度ボランティアスクール
- ・第六回理事会
- ・第二回渡島管内社協会長・事務局長会議
渡島合同庁舎

八雲地域ケア会議

第二回評議員会

- ・渡島地区ボランティア連絡協議会役員会並びに第
二回渡島地区ボランティア推進会議
渡島合同庁舎

社協職員退職辞令交付式

四月

- ・八雲町社協辞令交付式並びに年度始め式
- ・八雲町交通安全大会

社協職員の動き

この度、次のとおり異動がありましたのでお知らせいたします。

- *令和6年3月31日付退職者
荒谷 佳弘(熊石支所長)
吉田 洋子(庶務係長 兼 訪問介護係長)

- *令和6年4月1日新採用
総務係 小中 のぞみ
地域福祉係 大清水 貴俊
在宅福祉係 樋田 華奈

- *令和6年4月1日異動
事務局長 兼 熊石支所長 伊藤 修
地域福祉係長 兼 在宅福祉係長 柴田 亨
熊石庶務係長 兼 訪問介護係長 笹原 幹雄

- *令和6年4月1日再雇用
庶務係 兼 訪問介護係 吉田 洋子

～ よろしく願い申し上げます ～

赤い羽根共同募金の助成金は、八雲町社協だよりの発行にも役立てています。

会報第七十三号

八雲町社協だより

令和六年五月一日発行

二海郡八雲町栄町十三一
社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

TEL 0137-64-2112
FAX 0137-63-2160

